

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【対面】レクリエーション実技		
担当者(Instructors)	石川 幸生	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業は、レクリエーション・インストラクターに必要な実践活動能力を習得しその技能を高めることである。授業では主体的、能動的にレクリエーション活動が楽しんで行える最新の知識と技術を学ばせ、より実践的でクリエイティブな健康生活を過ごすことができる能力の育成をめざす。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	実習形式で行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	はじめに	授業の目標と概要について説明をする。 ホスピタリティー・トレーニングについて。 アイスブレイキングの具体的な技法について。 生涯スポーツ種目(チャレンジ・ザ・ゲーム)の体験をする。 生涯スポーツ種目(ドッジ・ボール)の体験をする。 生涯スポーツ種目(ウォーキング)の体験をする。 自然体験活動(ネイチャー・ゲーム)の体験をする。 自然体験活動(自然観察)の体験をする。 芸術・文化活動に関する種目(ソング、ダンス)の体験をする。 福祉レクリエーションを意識した活動(ゲーム3「クロリティー、フリーフロー、ピンボウリング」)を体験をする。 福祉レクリエーションを意識した活動(クラフト、カルタ遊び)を体験をする。 福祉レクリエーションを意識した活動(リハビリ体操)を体験する。 クラブ運営法(スポーツ教室)実習 クラブ運営法(文化教室)実習 授業の総括をする。	□
第2回	コミュニケーション・ワーク「ホスピタリティーについて」	ホスピタリティー・トレーニングについて。	□
第3回	コミュニケーション・ワーク「アイスブレイキングの技法について」	アイスブレイキングの具体的な技法について。	□
第4回	レクリエーション種目の実際「生涯スポーツ種目(1)」	生涯スポーツ種目(チャレンジ・ザ・ゲーム)の体験をする。	□
第5回	レクリエーション種目の実際「生涯スポーツ種目(2)」	生涯スポーツ種目(ドッジ・ボール)の体験をする。	□
第6回	レクリエーション種目の実際「生涯スポーツ種目(3)」	生涯スポーツ種目(ウォーキング)の体験をする。	□
第7回	レクリエーション種目の実際「自然体験活動(1)」	自然体験活動(ネイチャー・ゲーム)の体験をする。	□
第8回	レクリエーション種目の実際「自然体験活動(2)」	自然体験活動(自然観察)の体験をする。	□
第9回	レクリエーション種目の実際「芸術・文化活動」	芸術・文化活動に関する種目(ソング、ダンス)の体験をする。	□
第10回	レクリエーション種目の実際「福祉レクリエーション活動(1)」	福祉レクリエーションを意識した活動(ゲーム3「クロリティー、フリーフロー、ピンボウリング」)を体験をする。	□

第11回	レクリエーション種目の実際「福祉レクリエーション活動(2)」	福祉レクリエーションを意識した活動(クラフト、カルタ遊び)を体験をする。	<input type="checkbox"/>
第12回	レクリエーション種目の実際「福祉レクリエーション活動(3)」	福祉レクリエーションを意識した活動(リハビリ体操)を体験する。	<input type="checkbox"/>
第13回	レクリエーション支援実習「スポーツ教室」	クラブ運営法(スポーツ教室)実習	<input type="checkbox"/>
第14回	レクリエーション支援実習「文化教室」	クラブ運営法(文化教室)実習	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	授業の総括をする。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

レクリエーション・インストラクターに必要な、より質の高いレクリエーション技術の習得とレクリエーション支援力を身につけるため2時間以上の時間をかけ事前にテキストを読んで準備する。また、事後学習については授業で学んだ内容を理解するため2時間以上の時間をかけ整理しておくこと。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

レポート提出による課題の整理をし、ディスカッションを通して問題解決をおこなう。また、事後学習については実技の実際で授業で学んだ内容を整理する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP1	心身の健康増進に関するレクリエーション実技の専門的知識・実戦能力を身に付けているか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験(in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特に指定しないが、必要に応じ資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		